

サポートセンターみらい 地域連携推進会議録	理事長	管理者	サビ管	記 録

1 日 時	令和7年11月26日(水) 13:30~14:15
2 場 所	サポートセンターみらい グループホームこすも
3 参加者	A(利用者) C(利用者Bの実母の兄の妻) E(D自治会会長) 理事長 管理者 サービス管理責任者兼生活支援員 世話人兼生活支援員
4 案 件	第1回地域連携推進会議

※令和7年度より年1回以上開催する。

理事長より

全国どこでも今年からはじめてです。グループホームを地域の方々にも知っていただき意見をもらい、改善できるところは改善しましょうという趣旨から始まりました。利用者さんと地域との関係づくりも大事ということなので、よろしくお願いします。

①構成員の選任について

- ・利用者
- ・利用者の家族
- ・地域の関係者
- ・福祉に知見のある人
- ・経営に所見のある人
- ・市町村の障害福祉関係者

上記の中から事業者が選定し(上記の参加者参照)、構成員に就任していただきました。

②地域連携会議について

- ・地域に開かれたグループホームとするため
- ・利用者と地域の関係づくり
- ・地域へのグループホームと利用者に関する理解を深める
- ・サービスの透明性・質の確保
- ・利用者の権利擁護を促進する

③サポートセンターみらいの運営状況について

・平成31年4月1日開所。各ホーム6名ずつ、計12名
開所時は12名入所、今までで6名退所し、新たに4名入所した。今は各ホーム5人ずつで、計2部屋空いています。

実習し入所後、馴染むことができず退所した人もいる。ある程度ここをステップにして一人暮らしをする。国では施設から地域へ自立してもらいたいという思いだが、みんながそうはできない。ここで社会を経験してもらおう。

一般就労をしている方が5人、就労Bの方が4人となっています。

・全部で3人の世話人、朝食・夕食を作ってもらい計5時間勤務。4日勤務し、2日休みというシフトでやっています。

・自治会のゴミ拾いや花見に参加したり、仙台への旅行や、新郷温泉、買い物等の行事も行っています。

・夜間はセコムのみで、何かあれば連絡があります。遅番は19時まで、お盆・正月はなく日中は誰かがいます。

・共用経費(家賃・光熱費)等で毎月約6万円かかります。お金の管理は事務局、中には家族がやっている人もいます。定期的に引き出しをし、法人で決済をもらい管理をしています。

・収益性がない事業、施設とは違い区分がない人もいます、報酬単価が低い。本当は通院に行く人など人がもっといてもいいと思っています。

④施設見学

・出席者全員がグループホームを見学するとともに、利用者Bの居室、各設備等も見学して頂いた。